

令和2年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

第3学年2組

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
国語	<p>○読書に対する関心・意欲が高い児童が多い。</p> <p>○書くことに苦手意識を持つ児童が多い。</p> <p>○漢字や言葉に対する知識・理解は、児童によって差がある。</p>	<p>○読書量のみでなく、科学の読み物など様々なジャンルの本に対する関心・意欲をもたせるようにする。</p> <p>○身近なものを題材にした文章を書く機会を増やして苦手意識を取り除き、豊かな表現力を養う。</p> <p>○文章を書くときに、習った漢字を用いて正しく書けるようにする。</p>	<p>○図書支援員と連携を密にし、季節や学習内容に合わせたおすすめ本を教室に掲示したり、ブックトークで様々なジャンルの本を紹介してもらったりする。</p> <p>○毎回テーマを変えた一言日記に、定期的に取り組む。俳句の作り方のコツを教え、様々な方法で俳句作りに取り組む。</p> <p>○定期的に漢字テストを行う。作文を書く、推敲する機会を積極的に設ける。家庭と連携し、漢字が身に付くようにする。</p>		
社会	<p>○自分たちの住んでいる文京区に関して、関心・意欲をもって学習に取り組んでいる。</p>	<p>○年間を通して、文京区について様々な知識を得られるように計画的に学習を進めていく。</p>	<p>○「わたしたちの文京区」を活用して地図や写真をもとに調べ、文京区に関する知識を身につけさせる。</p> <p>○実際に地域に出て自分の目で見たり質問したりすることで、体験として地域学習を行う機会を増やす。</p> <p>○授業の中でわかったことを交流し、個々の気づきを全体へ広めたり、関連付けたりする。また、話し合いを通して考察を深</p>		

			める。 ○資料やデータを積極的に活用して、資料から読み取る練習をさせる。		
算数	○関心・意欲が高く、算数の学習に対して積極的に取り組む児童が多い。 ○九九などの基本既習事項が身に付いていない児童がいる。 ○文章問題から正しく立式できない児童がいる。	○発展問題に取り組むなどしてさらに意欲を高める。 ○基礎・基本を確実に身に付ける。 ○問題の内容を正しく理解し、解決できる児童を育てる。	○毎時間の学習に関して、学年や算数専科と連絡を密にし、日々の学習の進め方について相談する。 ○家庭と連携し、基本計算が身に付くようにする。 ○文章問題のキーワードに線を引いたり、図や数直線に表現させたりして正しく問題を捉えられるように指導する。		
理科	○生活科より進歩した観察の仕方・学習に関心をもち、積極的に取り組む姿が見られる。 ○昆虫・植物などの生き物に関する興味・関心が高い児童が多い。	○児童の関心・意欲を高め、主体的に学習に取り組み、さらなる知識や理解を深める授業を構築する。 ○個別で調べ学習を行い、調べたことを発表し合う活動を通して、生き物に関する興味・関心知識をさらに高める。	○導入で児童が学習内容について疑問をもつような課題提示を行う。また次時の課題や疑問を導き出せるようにする。 ○体験・実験活動を大切にし、実物に触れる機会を多く設定する。		
体育	○どの学習に対しても意欲的に参加している。	○年間を通して、どの項目についても意欲的に取り組めるようにする。	○コロナ禍でも協力してできる運動を工夫し、運動機能の向上に努めていく。 ○基本的な動きを自ら体得させるために、個々にめあてをもたせる。 ○児童が自分たちで運動を工夫したり、生み出したりできるような環境を作る。		

